

第4回アジア・オセアニア小児神経外科学会 報告書

第4回アジア・オセアニア小児神経外科学会会長

白根 礼造

師田 信人

第4回アジア・オセアニア小児神経外科学会(The 4th Congress of Asian-Australasian Society for Pediatric Neurosurgery: 以下 AASPN2023)は2023年12月13日より15日まで横浜で開催されました。欧米からの招待演者16名、アジア・オセアニア各国の faculty member 36名を含め254名の参加者を数え、その半数以上がアジア・オセアニアからの参加でした。演題数も、招待講演・教育講演、そして一般演題・ポスター発表を含め全部で270題近くにのぼり、大盛会のうちに終えることができました。

AASPN2023では小児神経外科各領域を網羅したシンポジウム・教育講演のほかに、女性脳神経外科医、日本の小児脳腫瘍ガイドライン、小児脳腫瘍治療における controversy、それに AASPN 設立10周年記念の preliminary session を設けましたが、いずれも参加者から高い評価を受け好評でした。Social event としては初日の Welcome party, 2日目の Gala dinner を計画しました。いずれも、学会場とは離れたところでの開催でどれだけ参加してもらえるか心配しましたが、幸いどちらも会場一杯の参加者で熱気と和気にあふれるなかでコロナ後の face-to-face ならではの交流を深め得ることができたと思います。

参加された皆様は実感されていると思いますが、AASPN2023では会場からの活発な質疑応答が交わされました。アジア・オセアニア各国の先生の向上心には目を見張るものがあります。ぜひ、日本小児神経外科学会の先生方にも、いい意味でのライバルとして競い合い、友情と連携を深めていただければと願っています。これまでの AASPN 学会は、設立後の経過もありインド・韓国・台湾、そして日本が中心でしたが、今回はほぼアジア・オセアニア全域から参加を得ることができ、名実共にアジア・オセアニアを代表する小児神経外科の Continental Society になったと実感しています。AASPN2023 会期中に国際小児神経外科学会(ISPN)との間で連携協定が交わされましたが、日本小児神経外科学会(JSPN)若手会員の皆様もぜひ、AASPN そして ISPN と、これからは海外への飛躍も目指して頑張ってください。

小児神経外科関連の国際学会開催は、2016年に故山崎麻美先生が主催された ISPN 総会以来となります。国際学会開催に慣れていないこともあり、運営が後手後手にまわってしまい、AASPN2023 準備期間中、そして開催中も何かとご迷惑・ご不便をかけたところも少なくなかったと思います。上記、ご勘案の上、よろしくご容赦の程、お願い申し上げます。

最後に、AASPN2023 開催にあたっては JSPN の全面的な後援・支援をいただきました。ここに

改めてお礼申し上げます。とりわけ、国際委員会・広報委員会の皆様には大変お世話になりました。また、小児脳腫瘍ガイドラインセッションは、日本脳腫瘍学会の後援があって初めて実現したものです。ご支援いただきました皆様には、心から感謝申し上げる次第です。

つぎの AASPN 学会は 2025 年にインドネシアのバリ島で開催されます。振興著しい東南アジアで初めての開催となります。JSPN 会員の皆様におかれましては、ぜひ積極的に参加し、アジア・オセアニア諸国の小児神経外科医と交流を深めていただけたらと願っています。

以上、簡単ながら AASPN2023 開催についての報告とさせていただきます。
ご支援・ご協力、ありがとうございました。